

お疲れの皆さん、 身延が癒します。

自然、歴史、文化、遊び、食……。
身延町は、四季折々、様々な癒しを
皆さまにお届けいたします。

春

身延山久遠寺のシダレザクラが咲き乱れる頃、身延を訪れてください。きっと、心が洗われるのを感じるはずですよ。



みのぶまんじゅう

言わずと知れた身延土産の代名詞のひとつ。素朴な味わいの薄皮の中には、昔ながらのこしあんがたっぷり蒸したてのほっかほかを手にまちを散策するのもオツ。身延山久遠寺界隈の門内商店街と、身延駅前のしょうにん通りなどで購入できる



下部味噌

寒の水で仕込み秋まで寝かせて作る「下部味噌」は、コク深い味わいが特徴。下部味噌を使用した「味噌ようかん」や「みそ飴」などお菓子はお土産として◎!



冬

川面に湯けむりが立ち上る頃、身延を訪れてください。きっと、カラダの疲れが吹き飛ばすはずですよ。



あけぼの大豆

地域性が強く、生産量が限られていることから「幻の大豆」と言われ珍重されている「あけぼの大豆」。丹精込めて作られ、10月に収穫期を迎える大豆は、大粒で甘みが強く、その美味しさには誰もがうなずく。枝豆のままはもちろん、様々な加工品として、私たちの味覚を刺激してくれる



秋

「幻の大豆」と呼ばれる希少品種【あけぼの大豆】が実をつける頃、身延を訪れてください。きっと、美味しい時間を過ごせるはずですよ。



千円札の富士山

世界文化遺産・富士山の構成資産のひとつ「本栖湖」は、富士五湖の中で一番の深さを誇り、ヨバルトラーに輝く湖水の美しさが神秘的な湖。千円札の裏面に写し込まれた富士山は、本栖湖西岸の中ノ倉から撮影された。写真家の故・岡田紅陽氏の「湖畔の森」がモデル。現在は登山道・展望台が整備され、湖畔から30分ほどのトレッキングで同じ絶景を拝むことができる



夏

富士山の雪が溶けて、本栖湖のエメラルドが映える頃、身延を訪れてください。きっと、とびきりの思い出ができるはずですよ。



西嶋和紙

武田信玄公にも重用されて以来400年余り、歴史と伝統を守りながら改良を加え作り続けられている特産和紙。墨色の発色やにじみ具合が良く、全国の書家から愛用されている



ゆば

約750年前、日蓮聖人のためにお弟子さんたちが作り、今日に伝わったとされる身延町の「ゆば」。精進料理の代名詞でもあり、素朴な味わいとヘルシーさから、女性を中心に親しまれているが、その日々の進化には驚くばかり。生ゆばはもちろん、ゆばの原料となる豆乳、またゆばをつくる過程で出るオカラ、そして生ゆばそのものを使った産地ならではの幅広いラインナップにも注目!



ゆば井をはじめ、ゆばを使った料理を食べられるお店もたくさん!

ダイヤモンド富士

富士山の山頂中央部から太陽が昇り、ダイヤモンドリングのような輝きを見せる幽玄かつ神秘的な自然現象。身延町内では身延山山頂や本栖湖などから、年に数日だけ見ることができる



「千円札の富士山と同じ景色を見に行こう！」

ミネラルウォーター

下部温泉の幽谷から採水した「天然鉱泉水信玄」「神水」は硬度高め。「身延山」はバナジウムを多く含むナチュラルウォーター。いずれも飲みやすくリピーターが続出

